

nagomi no hiroba

このコーナーでは、皆さんからの「こころ和む話題」をお待ちしています。

【投稿について】

- ◆字数 200 文字以内（文章は、必要に応じて添削する場合があります）
- ◆住所・氏名・年齢・性別・電話番号・ペンネーム（記入がない場合イニシャルで掲載します）を記入の上、市広報係までご投稿ください。
- ◆投稿は、はがき・封書・メールまたは直接広報係へ
- ◆締切は、毎月 10 日
- ※営利目的や個人、団体を批判・中傷するような内容は掲載できません。
- ※紙面の都合上、掲載できないこともあります。

【投稿・問い合わせ先】

〒895-2511  
 伊佐市大口里1888番地  
 市総務課広報係(大口庁舎)  
 「和みのひろば」係  
 ☎1311  
 ☎1116・1117  
 ✉koho@city.isa.lg.jp



人間が作ったものは自然のものにはかなわない、と思っていました。先日もごし市場でみかけた「メノモチ」はすっごくきれいでした。小さなメノモチを一度姑と作っていたことがあります。後の片付けが大変。捨てるのは絶対にいや。ほこりを払って枝から外して・・・そうしているうちに餅への愛情が薄れてしまっても・・・でも、見ている分にはとっても幸せです。

（湯之尾 いわし雲 30代）

久しぶりの鹿児島アリーナに高校新人バレーボール大会を観に行った。目当ては中学生の時必死にボールを追いかけていた元気な伊佐の子供たち。自宅通学や市外の学校で寮生活を送りながら頑張っている。耐寒力を備えた伊佐の子供たちが、チームの中心的存在としてプレーしている姿は躍動感に溢れ、私たちに勝利への執念を伝えた。笑顔の子供たちに7年後の鹿児島国

体の選手にと、夢をひろげてくれた時間となった。

（菱刈 とんび 50代）

犬の散歩をしながら自然を眺めるのが私は大好きです。昨年11月に見た光景は、文句を言い合っているのか、餌でも取り合っているのか上空で争うカラスとトンビらしき2羽。軍配はトンビにありました。最近では、鶴らしき1羽を発見。サギにしては大きいし、たぶんナベヅルかしら。警戒心が強くだいぶ離れていても逃げてしまいましたが、伊佐にも鶴がおりてくるのかと思うと嬉しくなりました。1羽だけでいたのが気がかりですけど。

（大口 胡桃 50代）

その1羽の鶴がたくさんの仲間を伊佐に連れて来てくれるといいですね。



人口のうごき (住民基本台帳から)

H25. 1. 1 現在 (前月比)

総人口	29,224人	(- 23)
男	13,527人	(- 6)
女	15,697人	(- 17)
世帯数	14,213世帯	(- 7)



編集後記

1月15日号を発行してから今回まで「待ち長かったあ」。ここでお伝えできないことがあるんです。今月号は「No.101」ということは、前号が「No.100」でした。15日号は「お知らせ版」なので派手な演出もできず、広報係だけでささやかにお祝いしたんですよ、紙面上で。気づいてくださった方どれくらいいますか。「No.100」の数字の中に喜んでいる人を発見できましたか。

伊佐市が誕生してからの軌跡です。もっと大々的にお祝いできればよかったのですが、のん気に、「わぁー100だ!」「わぁ!本当だ!」とこんな調子です。今回の反省を踏まえ、次の節目No.200では「何かやろう!」と、張り切ったものの、節目はいつも「お知らせ版」なんですよね。次回も同じレベルのお祝いでしょうか、皆さんも見逃さないようにどこかにいる「隠れキャラ」を探してください。そうか...私は異動しているか(ガッカリ)。